

品川区議会第4回定例会を終えて

2017年12月21日

日本共産党品川区議団

幹事長 飯沼雅子

品川区議会第4回定例会は11月24日から12月7日にかけて行われ、区議団は多彩な区民の要求運動と力合わせ、その実現のための議会論戦に全力をあげました。

一般質問では、なかつか亮区議が①9条改憲反対と核兵器廃絶②学校選択制の中止③LGBTの理解促進と支援④ニコン工場跡地の購入で特養ホーム等増設、のだて稔史区議が①29号線の撤回②国保料引き下げと厳しい取り立て中止③来年4月の待機児ゼロ④羽田新ルートの区長の容認発言、を取り上げました。

以下、定例会の概要をご報告します。

(1) 羽田新ルート「容認」 区長の重大な背信が明らかに。区長は全容を解明し、国への容認姿勢を撤回し、反対表明を



12/10 の区民の会のアピールパレードには超党派で125人が参加

現在の海上ルートを覆し、都心低空飛行の解禁を狙う羽田新ルート計画。安倍政権が2020年までに実行すると進めています。9月に大阪市で外国機から落下したパネルが乗用車に激突するなど落下物が相次ぎ、連日メディアも報道、羽田新ルート計画に対する不安と怒りが広がっています。そんな中、区長は11月11日のタウンミーティングで「国策だから甘受する。品川区民にとってのメリットを提示せよと交渉して約束させた。これを実現させることが私の役割」などと発言し、大問題となりました。共産党は、この発言を議会で連続追及。既に2年前に区長が交渉していたことを明らかにさせるなど、区長の背信を正面からたたきました。

新ルートでの騒音の影響を具体的に明らかにし対策をと求める視覚障害者からの請願は全会一致で採択。計画に反対する立場からの請願2本も否決にはなりませんが、議会の3分の1にあたる12人の議員が賛成。共産党の他、生活者ネットも賛成討論（態度表明）を行いました。

これは、2015年の安保法制慎重審議を求める請願可決、2016年のリオ五輪視察の反対に続き、品川区議会でも永らく続いてきた「共産党だけが反対」「自民党に右にならえ」というオール与党議会が、区民の声と運動が確実に変えてきていることを示しています。こうした切実な要求に基づく区民と野党の共闘を更に多彩な分野に広げる努力を続けていきます。

(2) 区民の多彩な要求に応える論戦を行い、区民運動と結んで前進した点について

① 公有地を活用した特養ホームや保育園、障害者施設など区民要求が前進



林試の森公園隣の国有地を視察（2014年秋）

区は福祉施設用地として林試の森隣の公有地5000㎡の購入交渉を進めており、取得は最速で平成31年度以降、と報告。共産党は、4年前から購入を求め、隣接する5000㎡の所有地の存在も指摘し、特養ホームや障害者施設、保育園などの設置を求めてきましたが、今回、区も初めて所有地を購入対象であることを明らかにしました。

また、この夏には認可保育園用地として中延の都水道局跡地（565㎡）の購入も実現。2019年の4月に開設となります。更に、この間の論戦で民有地を購入して認可保育園や特養ホームを整備する考えが区にある事も明らかにさせました。ニコン工場跡地の購入も繰り返し取り上げています。更なる土地購入で区民要求実現のためにがんばります。

② 障害者計画策定に当事者参加が実現

障害者とその家族から声があがり、共産党も議会で取り上げ論戦し、計画に当事者の声を反映させる画期的な前進が始まっています。先の三定では「品川区障害児・者福祉計画の策定時における当事者の参画機会の確保に関す

る請願」が全会一致で趣旨採択され、共産党も一般質問で取り上げました。結果、今定例会では希望する全ての団体への意見聴取、パブコメ期間の延長、策定委員会の公開と傍聴者の人数制限の撤廃、更に資料配布、素案冊子の希望者への配布が実現しました。

③ 大企業の利益第一の再開発や巨大道路にキッパリ反対貫く

大崎、武蔵小山や目黒から、更に戸越公園駅周辺など、内陸部にも広がる超高層ビル再開発にあちこちで住民の反発の声があがり始めています。10月27日には区議団が再開発学習会を開催、大崎、北品川駅、池田山など各地でたたかう住民団体が参加し発言しました。大崎西口 F 南地区開発で規模の縮小を求める住民が、議会陳情や都市計画審議会への意見書提出などに取り組みました。

大井一丁目南第一地区開発に合わせた区道新設条例の論戦の中では、再開発組合が住み続けたい住民を立ち退き裁判を起し追い出した事実も判明。一方で、51億円の税金投入で参加企業の住友不動産は91億円もの利益を手にするを明らかにしました。

区議団は、住民の声と運動にしっかり寄り添い、住民の声を聞かず、住民追い出し、風害・日照、保育園などインフラ不足、災害リスク、税金ムダ遣いなどの超高層再開発計画の理不尽さを論戦で浮き彫りにし、計画の中止を求めていきます。

④ 取り立て強化を自慢する国保行政から、命守れる国保制度へ 論戦で押し返す

差押さえなど滞納国保料を取り立てれば取り立てるほど都が報奨金を払い、その獲得を成果と自慢する区政の下、「高すぎて払えない」「分納計画を了承しない限り子どもの保険証は渡さないと言われた」などの切実な相談が区議団に寄せられています。区議団は、こうした声を紹介し来年からの国保の都道府県化がそれに拍車をかけると告発。財源も示し保険料値下げは可能だと論戦し、区に国保料の負担を「重い」と認めさせるとともに、具体的な対応で厳しい取り立ての改善も勝ち取ってきました。区民の命守れる国保の実現へ、更に運動と論戦を広げましょう。

⑤ 「来年4月には待機児ゼロ達成」のゴマカシを明らかにし、対案示す

区長が前回区長選で公約し、未だ実現していない待機児ゼロ。区が「来年4月に実現の見込み」との見通しを示したことに對し、共産党は精査・分析し待機児を少なく見せるカウント方式によるゴマカシであることを明らかにしました。「4月に再申請しなければ待機児に含めない」などの区独自のカウント方式の見直しと、保育園入園を希望するすべての子どもを受け入れられる認可保育園の増設計画と分園方式を含めた緊急対策を提案しました。

⑥ 「学校統廃合やめよ」「学校選択制は廃止を」と論戦

学事制度審議会の「中間まとめ」で、地域からの批判が強い選択制の維持と小規模校の統廃合の検討が示された問題を告発し論戦。区は「統廃合を検討するための機関との位置づけは答申にはない」と言わざるを得ませんでした。

⑦ 多彩な区民要求の実現へ奮闘 区長と議員の報酬値上げには反対

本会議で LGBT 理解と支援促進を質問。区民からあがる学校給食費無償化や看護師の勤務体制改善など多様な請願の採択に向け論戦しました。また、区長や議員の報酬を上げる条例が自民、公明、民進、無所属（都民ファ）などの賛成多数で可決。共産党は厳しさを増す区民生活の実態から、区政の代表である区長や議員の給与を引き上げるべきではないと反対しました。

(3) 区長選・区議補選まで9か月 住民要求を実現する区政と区議会をつくり、安倍暴走政治を止める流れを品川から

来年9月の区長・区議補欠選挙まであと9か月となりました。安倍9条改憲への反対や北朝鮮問題、ICAN のノーベル平和賞受賞に関してさえ「外交防衛については差し控える」と、安倍暴走政治の事実上の協力・推進者として立ち振る舞う区長。また、道路や開発は湯水のような税金投入で進める一方、暮らしや福祉の予算は抑制・削減する区政では、区民の命も暮らしも守れません。一方で、羽田新ルート、道路や開発、障害者など福祉の分野をはじめ、こうした区政に公然と異議を唱え行動する市民の運動が広がっており、それらが議会にも変化をもたらしています。

区議団は、こうした市民と議会内での共闘を広げ、悪政の防波堤となり区民の暮らしを命を第一にする区政と議会実現と、安倍暴走政治を止める流れを品川からつくるためにがんばります。